# 区政を聞く　代表質問（要旨）

## 自由民主党議員団

**協働の視点で防災対策の強化と調和のとれた街づくりの推進を**

### 財政運営

**問 国が予算化した約1兆4千億円の「地域の元気臨時交付金」を積極的に活用すべきと思うが、考えを伺う。**

答 防災・減災事業をはじめ、区民の安心・安全、元気活性化などの事業に役立てるため、最大限活用していきたい。

**問 新基本計画における前期実施計画初年度となる予算編成にあたり、どのような施策に重点配分を行ったか。**

答 保育所や学童クラブの設置、中青戸小学校の改築、私立幼稚園入園料助成の拡充などの子育て支援策、民間建築物耐震改修助成や水害対策の強化などの防災・減災対策、特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームの整備費助成などの高齢者施策を中心に予算案をまとめた。

### 公共工事の契約等

**問 入札辞退多発の原因として、資材の高騰は影響しているのか。また、工事施工期間中の経費の上昇などに、区はどのような対応をするのか。**

答 調・不落の理由として、建設資材の高騰も原因の一つと考えている。契約後の資材価格の急激な変動や、長い工期での賃金水準または物価水準の著しい変動には、状況を調査確認して工事契約約款に基づく契約価格の変更を検討する。

### 新基本計画

**問 5つの「減災協働プロジェクト」のスケジュールを伺う。**

答 それぞれの事業には計画期間を定めているが、特に緊急防災3か年プロジェクトの学校避難所の機能強化、公共施設の防災機能の強化、防災意識の啓発、緊急耐震プロジェクトの民間建築物耐震診断・改修助成は3カ年で目標を達成する計画とした。

**問 「新エネルギーの導入」はどのように進めるのか。**

答 研究機関や産業界との連携・協力が必要であるため、区内産業界や東京理科大学との連携も視野に入れ、国のエネルギー政策も見極めながら取り組む。

**問 産学連携による地域経済の活性化策について伺う。**

答 区専属のコーディネーターを東京理科大学の科学技術交流センターに配置する。またモデルプロジェクトとして理科大との共同開発事業の費用助成の限度額・補助率をアップする。

**問 地域産業の活性化策について伺う。**

答 観光協会や食品衛生協会、商店街連合会などが協力連携して行う食をテーマとしたイベント「フードフェスタ」を基本計画に盛り込んだ。

**※他の質問項目　観光施策の強化など**

### 街づくり

**問 金町駅北口の区が購入したスイミングスクール跡地の活用について伺う。**

答 既存の駅前広場などの拡充に繋げ、土地の高度利用や個性的・魅力的な都市空間の形成を図る。

**問 今後の新小岩駅周辺地区の街づくりの取り組み方針を伺う。**

JR新小岩駅南口

答 地域の方々と十分な意見交換を行いながら、地域の魅力・活力の創出をけん引する街づくりを進める。

**問 新小岩駅の南北自由通路の整備が街づくりに与える影響について伺う。**

答 新小岩駅南北の歩行者動線が変わり、南口や北口の街が賑わい、商業などの活性化が図られることを期待している。

**※他の質問項目　金町駅の利便性　など**

## 葛飾区議会公明党

**基本計画のスタートにあたり区の方向性をあらためて問う**

### 平成25年度当初予算案など

**問 予算案伸び率1.5%の意図と予算配分について区の見解を伺う。**

答 経営改革の取組みや財政調整交付金の増などから確保できた財源を、保育所・学童保育クラブの設置や私立幼稚園入園料助成の拡充などの子育て支援策、民間建築物耐震改修助成などの防災・減災対策、特別養護老人ホーム等の整備費助成などの高齢者施策を中心に配分した。

**※他の質問項目　入札のあり方　など**

### 新基本計画における10年間の財政フレーム

**問 今後の都市基盤や公共施設の更新の考え方について区の見解を伺う。**

答 総量抑制を図りつつ施設を更新していくことが必要である。施設の長寿命化、適切な維持管理の実施、防災機能の強化なども含め、地域の実情をふまえた施設更新計画を、区議会や地域の皆様と議論し理解を得ながら作成する。

**※他の質問項目　学校トイレの改修などの繰越事業の完了予定時期　など**

### 新基本計画

**問 基本構想の将来像「水と緑ゆたかな心ふれあう住みよいまち」をどう捉えて新基本計画を策定したのか。区長の見解と実現に向けた決意を伺う。**

答 将来像の方向性は普遍であるが、実現するための取り組みは時代とともに変わってくる。区が直面する課題解決には区民との協働が不可欠であるため、新基本計画を貫く理念に掲げた。私が先頭に立ち、職員一丸となって新基本計画を推進することで「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現していく決意である。

### 新基本計画における5つの主要課題

**問 区内道路の空洞化調査の早期実施を強く要望するが、区の考えを伺う。**

答 災害時の復興活動の基幹となる区の啓開道路のうちバス路線を対象に空洞化調査費を新年度予算に計上した。この調査結果を活用し、道路の適正管理に努める。

**※他の質問項目　かつしか学力向上プランの成果検証仕組みづくり　など**

### 高齢者支援策

**問 （仮称）シルバー応援チケット事業を導入してはどうか。**

答 高齢者向けの事業全般の分析を行い、財政負担を勘案しつつ、使い勝手を含めて工夫・検討をする。

### 今後の行財政運営

**問 職員の能力向上と組織力の強化を図った上での、将来の本区の行政規模についての区長の考えを伺う。**

答 4千人規模だった職員数が昨年4月には3千人を下回った。現在策定中の行革実行プログラムの推進により、平成28年4月には2千900人規模になると見込んでいる。

**※他の質問項目　持続可能な行財政運営の取り組みの推進　など**

### 保健所の取り組みと予算措置

**問 「区民の健康は保健所が守る」との積極的な姿勢で長寿健康社会の構築を図る必要があると思うがどうか。**

保健所（健康プラザかつしか内）

答 今年度実施した健康実態調査に基づき、「（仮称）健康かつしか21」を作成する方針である。区民の健康を守るために効果的な事業は、国庫補助金などの有無に関わらず事業展開していく。

## 民主党葛飾

**医療環境の充実と防災対策**

### 葛飾区前期実施計画素財政フレーム・人口流出入と政策の相関関係

**問 今回示された財政フレームの考え方について区の見解を伺う。**

答 現行制度が存続することを前提にして積算しており、今後区財政に影響を及ぼす財調制度の改変や税制改正など十分に注視していく。

**※他の質問項目　公共施設建設基金の積立及び取崩計画　など**

### 医療環境の充実

**問 成人病3疾患やリハビリテーションへの対応は喫緊の課題である。医療環境の向上を目指して、医療機関の誘致を進めていくべきだがどうか。**

答 成人病3疾患への対応は、重要な課題であると認識している。来年度にはハード整備やソフト事業の充実などあらゆる面から効果的な施策を検討していく。

都立墨東病院

**※他の質問項目　成人病3疾患死亡者数の全国・東京都・区北部との比較　など**

### 環境問題

**問 PM2.5の状況及びデータの提示や知識の提供を様々な広報媒体を通じて行うべきと考えるがどうか。**

答 国や都の動向を受けホームページ専用サイトを開設しているが広報紙など他の媒体の活用も検討していく。

**※他の質問項目　測定結果公表**

### 公共交通網

**問 公共交通体系の整備方針、特にバス路線について取り組む必要があると考えるがどうか。**

答 バスを中心とした区内全域をふかんした交通の在り方について、地域特性に応じた課題を分析抽出し、今後公共交通に係る具体的な計画の策定を検討していく。

**※他の質問項目　平成24年の政策・施策マーケティング調査**

### 防災対策及び減災協働プロジェクト

**問 葛飾区耐震改修促進計画において平成27年度までの目標達成のため今後どのような施策を考えていくのか。**

答 助成制度を多くの区民が利用されるよう積極的に区の広報紙やホームページで案内し、地域団体や建築士、工務店などと連携を図り、説明会や戸別訪問を実施し建築物の耐震化促進を図るよう努めていく。

**※他の質問項目　液状化対策　など**

## 日本共産党葛飾区議会議員団

**区民の暮らしを守る区政への転換を**

### 来年度予算

**問 政府の生活保護費削減計画に反対意思を表明すべきと思うがどうか。また、非課税世帯、就学援助受給世帯に影響のないよう区制度を充実してはどうか。**

答 生活保護の目的は国民の最低限度の生活保障と自立助長であり、国民の消費水準との均衡を図ることは制度の趣旨に沿ったものであり反対意思を表明する考えはない。また、生活扶助見直しの具体的内容が不明で、本区制度への影響が分からず、制度充実の必要性を検討する状況にない。

**※他の質問項目　中小企業金融円滑化法の再延長　など**

新宿地区センター

**アクセスの便利さなどに影響をうける。行政こそ利用率を上げる努力を行うべきではないか。**

答 平成23年度に利用率の低い原因や対応について調査し、今後、地域実情や特性に応じた施設に転用するなど、効果的・効率的方策を講じる。

**※他の質問項目　待機児ゼロ　など**

### 葛飾の教育を大津市の第三者調査委員会調査報告書にてらして

**問 大津市のいじめ自殺事件の第三者調査委員会の調査報告書について、どのような認識を持っているのか。**

答 調査報告書によると、いじめと自殺の因果関係が明確になり、教員がその状況を認識していたが適切な措置をとらず、事態が明らかになった後の学校と教育委員会の対応についても問題があったと認識している。大津市の事例や過去の事例について十分に学び、本区のいじめ問題への対応に活かしていきたいと考えている。

**※他の質問項目　教員間の情報の共有化　など**





# 区政を聞く　一般質問（要旨）

4面まで続きます

## 葛飾区議会公明党

**自殺対策のより一層の取り組みと家庭から始める地球温暖化対策を**

### 自殺・うつ対策

**問 パソコンや携帯電話を使ってメンタルチェックできるシステムを導入すべきと思うがどうか。**

答 受診や相談のきっかけづくりに有効であり、システム導入を検討する。

**※他の質問項目　ゲートキーパー研修の具体的な計画　など**

### 防災訓練

**問 シェイクアウト訓練の導入を要望する。区の見解を伺う。**

答 ボランティア団体や事業者などと連携し実施時期や方法などを検討する。

**※他の質問項目　総合防災訓練　など**

### 廃食油再生利用促進事業

**問 使用済み食用油の再生利用の取り組みについて伺う。**

答 区内に設置予定の拠点で回収した廃食用油をバイオディーゼル燃料に再生し、燃料としての利活用をめざす。

**※他の質問項目　出前講座実施　など**

### 橋梁の維持・更新

**問 区が管理する橋梁の現状と、修繕の前倒し実施について区の見解を伺う。**

答 現在、小松橋を修繕中であり、今後奥戸橋や堀切避難橋などを順次行う。前倒し実施の精査も行い対処する。

**※他の質問項目　架け替えにあたっての自転車通行レーン設置　など**

**学校での動物の飼育を通して子どもたちに心の教育を**

### 産業見本市開催事業

**問 出展企業の選定基準について伺う。**

答 成約の見込める企業を中心に選定することも必要と考える。基準は関係者などと協議・検討し作成していく。

**※他の質問項目　開催までのロードマップの作成　など**

### 葛飾区認定製品販売会実施事業

**問 曜日と場所を固定するなど定期的な開催が必要と考えるがどうか。**

答 一部の認定製品は販売困難な季節もあるが事業者と協議し順次拡大する。

**※他の質問項目　葛飾元気野菜を使ったレシピコンテストの開催　など**

### 学校飼育動物の管理

**問 小学校の飼育小屋の環境整備の考え方を伺う。**

答 地域の方々の力をお借りするなど、学校の実情に応じて検討する。

**※他の質問項目　専門家との連携　など**

### 地区図書館の設置

**問 小菅・堀切・南綾瀬の地区図書館は早急に開設すべきと思うがどうか。**

奥戸地区図書館（平成23年4月2日開設）

答 あらためて計画事業として位置づけ、全力を挙げて整備に取り組む。

### 基本計画の11のプロジェクト

**問 教育施設基金積立をルール通りに行うべきではないか。また、学校教育どもたちの良好な教育環境向上を目的に計画的、着実に学校改築を行う。**

**問 地域コミュニティ施設の利用は交通用」の経費をどう反映しているのか。**

答 今後作成される施設更新計画に基づいて、培ってきた基金や起債を最大限活用するなどして財政計画を作成していく。

**※他の質問項目　総合計画策定　など**

### 放射線対策

**問 放射能に関する危機感を風化させないために、どのような手段で情報を発信し、啓発していくのか。**

答 広報紙やホームページ、ツイッターや安全安心メールで放射線情報をお知らせし「わたしの便利帳」に放射線の基礎知識を掲載した。持ち込み食品検査の結果は区民事務所などで閲覧できる。国や他自治体の新たな情報は、適時適切にお知らせする。

**※他の質問項目　健康影響対策　など**

## 地域政党葛飾

**平成25年度予算における区の考え方・取り組みについて**

### 平成25年度における区の行財政運営の基本的な考え方

**問 平成25年度予算は、区民の暮らしや家計の現状について、どのような認識に立ち編成したのか。**

答 中小零細企業の多い本区は、国の緊急経済対策の効果が現れるまで一定の時間がかかる。前期実施計画初年度の予算編成は、働きやすい環境づくりに資する保育所や学童クラブの設置、経済的負担軽減のための学校給食費の助成や私立幼稚園入園料助成、また高齢者施策の特別養護老人ホーム整備費助成、介護予防事業などの重点施策に財源を配分した。

保育園で遊ぶ園児たち

**※他の質問項目　危機管理対策基盤づくりの予算配分　など**

### 公共施設のあり方

**問 基本計画の財政フレームにおいて、「公共施設の効果的・効率的な活用」の経費をどう反映しているのか。**

答 今後作成される施設更新計画に基づいて、培ってきた基金や起債を最大限活用するなどして財政計画を作成していく。

**※他の質問項目　総合計画策定　など**

### 放射線対策

**問 放射能に関する危機感を風化させないために、どのような手段で情報を発信し、啓発していくのか。**

答 広報紙やホームページ、ツイッターや安全安心メールで放射線情報をお知らせし「わたしの便利帳」に放射線の基礎知識を掲載した。持ち込み食品検査の結果は区民事務所などで閲覧できる。国や他自治体の新たな情報は、適時適切にお知らせする。

**※他の質問項目　健康影響対策　など**

## 自由民主党議員団

**未来を担う子どもたちの健康と実効性のある広域避難対策**

### 子育て支援

**問 平成25年度からの予防接種について区の対応を伺う。**

答 接種費用の半額程度を助成しているヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンが全額公費助成となり普及が進むと考える。区医師会をはじめ関係機関と調整を図るとともに区民周知に努める。

**※他の質問項目　接種状況　など**

### 地域活動などの支援

**問 地域の連携連帯強化や地域活動の活性化に、自治町会へどんな支援を行っているか。**

答 地区センター長が地域と行政の連携と地域課題解決の連絡調整を行う。地区まつりへの助成、環境美化地区助成、自治町会館整備費助成などを行っている。

**※他の質問項目　地域の安心安全**

### 水害対策

**問 広域避難対策として近隣自治体とどのように連携を図っていくのか。**

答 市川市と松戸市と災害時における相互応援に関する協定を締結した。

**※他の質問項目　一時避難協定**

### フードフェスタ

**問 食のブランド化について、通年的に商工会議所や区商連、観光協会と協働でPRをしてはどうか。**

答 区内で製造される食料品や飲食店の情報発信は賑わい創出に有効であり、フードフェスタの開催に合わせて実行組織の中で検討したい。

**※他の質問項目　イベント内容**

### 区民事務所のサービス向上

**問 高齢者等への対応やバリアフリー対策について伺う。**